

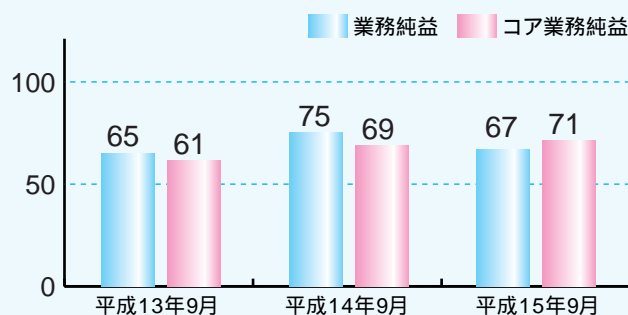
業務純益・コア業務純益

コア業務純益は中間期過去最高を計上

業務純益は、銀行が預金や貸出金、為替業務などの本業部門でどれだけ利益をあげたかを表す指標で、一般企業でいう営業利益に相当します。平成15年9月期の業務純益は、一般貸倒引当金繰入の増加などから前年同期比7億93百万円減少し67億74百万円となりましたが、一時的変動の影響を除いた銀行本来業務の収益力を表すコア業務純益^(注)は、前年同期を1億57百万円上回る71億8百万円の間中期過去最高となりました。

業務純益・コア業務純益の推移

単位：億円



(注)コア業務純益は、業務純益から一般貸倒引当金繰入、信託勘定償却、国債等債券損益(5勘定戻)を除いて算出します。

経常利益・中間純利益

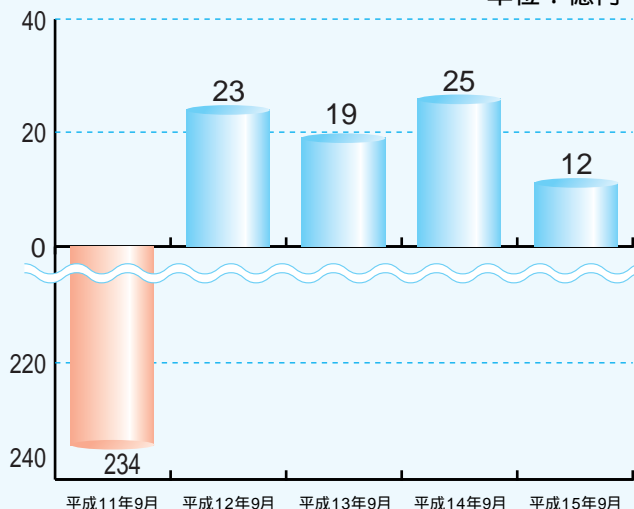
中間純利益は12億円を確保

中間期の経常収益は、投資信託や国債等の預り資産の販売増加による役務取引等収益の増加や有価証券損益の改善などにより前年同期比4億12百万円増加の209億12百万円となりましたが、不良債権処理を積極化したことなどから、経常利益は同22億34百万円減少の19億13百万円、中間純利益は同13億42百万円減少の12億8百万円となりました。

今年度の配当については、経営の安定性を確保する観点から、普通株式、優先株式とも期末一括での実施を予定しています。

中間純利益の推移

単位：億円



格付け

格付けは「A-」(シングルAマイナス)を取得

格付けは、企業が発行する債券などの元金および利息の支払いが、約定どおり履行される確実性の度合いを公正な第三者である格付け機関が評価し、その結果を記号で表したものです。

当行は、日本の代表的な格付け機関である日本格付研究所の格付け^(注)を取得しており、20ランク中上位から7番目となる「A-」(シングルAマイナス)の良好な評価を得ています。

格付けの定義

格付け	定義
AAA	債務履行の確実性が最も高い。
AA(+)	債務履行の確実性は非常に高い。
A(+)	債務履行の確実性は高い。
BBB(+)	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来、債務履行の確実性が低下する可能性がある。
BB(+)	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
B(+)	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。
CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
CC	債務不履行に陥る危険性が高い。
C	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
D	債務不履行に陥っている。

(注) 格付けは、「AAA」から「D」までの10段階に分かれています。また、「AA」から「B」までの格付け記号には、同一等級内での相対的位置を示すものとして、(+)もしくは(-)の符号による区分があります。その符号も含めてランク付けした場合には、20ランクとなります。